

令和03年09月議会

Q 自ら飼育していない動物の繁殖抑制（餌やり禁止条例）をもとめる。
又、そのような動物への避妊手術を村で行えないか。

A 広報で住民に周知していく。
自ら飼育している動物に対しては、避妊手術の補助している。

問

このような動物による被害は把握しているのか

○担当課長

そのようなことがあるのは承知しているが具体的には把握していない。

問

餌やりの実態は把握しているか。

○担当課長

実態は把握していないので、把握に務める。

問

今回、条例は制定せず、広報で周知するとの事だが、どのようなするのか。

○担当課長

ある程度目立つようにし、周知の状況を見て対応を考える。

問

村長はどのように考えているか。

○村長

餌やりについては、対応が必要である。

避妊手術については、猫は飼い猫か野良猫かの区別が出来ず対応が難しい。

今後ICチップが一般化すればその状況で改めて検討する。

いずれにしても、責任をもって動物を飼育することが肝要だ。

要望

広報は状況見て、何度でもする必要がある。

村長が言われるように、

広報には、餌やり禁止と共に、責任をもって動物を飼育することも含めて、お願いする。

「補足説明」

9月10日の新聞で、稲沢市は野良猫の避妊手術助成費をインターネットを通じCF(クラウドファンディング)で集めたとあった。

尾張版



鑑賞

林美恵子
洋明会

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール

shakai@chunichi.co.jp

- 一宮総局 〒491-0851
- 一宮市大江1-13-13
0586-72-4545 Fax72-5035
- 津島通信局
0567-28-2157 Fax28-2158
- 稲沢通信部
0587-32-8800 Fax23-8035
- 江南通信部
0587-54-4001 Fax54-9622
- 蟹江通信部
0567-95-3022 Fax95-3000
- 春日井支局
0568-81-2036 Fax81-2797
- 大山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613
- 小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

小さな日記



江南市古知野北小6
白石 優雅さん

僕には夢がまだないけど、僕を育ててくれた人に恩返しをしたいです。できるかぎりのことは、全力をつくして、恩返しをしたいです。育ててくれた人に恩返しをして、笑ってくれたところを見たいです。勉強もがんばります。

稲沢市CF 目標上回る

野良猫の繁殖やふん尿による悪臭被害などを防ぐため、稲沢市が、インターネットを通じて資金を募る「クラウドファンディング」(CF)で、野良猫の避妊手術費を助成する費用を集めた。避妊手術に助成制度を設ける自治体は多いが、CFで募るのは県内でも少ないといい、百二十万円の目標を上回る百八十二万二千円が寄せられた。住民と猫が共生できるまちづくりを目指す。

(牧野良実)

野良猫の避妊助成費募る

不幸な猫を増やさないために！飼い主のいない猫の避妊推進プロジェクト

寄付金額 **1,812,000円**

139.3%

目標金額: 1,300,000円

達成率 **139.3%** 支援人数 **101人** 終了まで **受付終了**

愛知県稲沢市(あいちけんいなざわし)

このプロジェクトは終了しました

寄付募集期間: 2021年6月1日~2021年8月31日(92日間)



市によると、市内では年間四百匹を超える猫が交通事故などで死んでおり、その多くが飼い主がいらない。住民トラブルの原因になることもあり、市には「自宅の敷地内にふん尿をした」などの苦情も寄せられるという。

不幸な野良猫を減らすため、市はこれまで、住民にチラシを配るなどし、無責任な餌やりをやめて不要な繁殖を防ぐように求めてきた。一方で、避妊手術は一匹あたりオスの去勢で八千~一万円、メスの不妊で一万五千~二万四千円ほどかかる。自費で取り組む人もいたが、活動の負担になっていた。

こうした状況を受け、市は四月から、飼い主のいない猫に市内の動物病院で避妊手術を受けさせた際、去勢で六千円、不妊で一万円の補助を開始。八月末までに三十件の申請があった。

CFでの事業費調達には、野

住民との共生目指す・高額寄付に感謝状

良猫の保護に対して市民の意識を高めてもらう狙いもある。六~八月に募り、全国の一人一人から寄付があった。二十万円の寄付した人もおり、市環境保全課の担当者は「想像以上の反響だった」と手応えを語る。

市は今日三日、十万円以上を寄付した四人へ感謝状を贈った。贈呈式には、すてっぷ動物病院(同市稲島九)の福田伶奈さんと、ボディケアサロンもみこ(同市野崎町)の駒田真菜さんが出席し、加藤錠司郎市長から感謝状を受け取った。福田さんは「不幸な猫ちゃんが減ってほしい」と願った。

野良猫を巡っては、避妊手術をして元の場所に戻し、地域ぐるみで世話をする「地域猫活動」の取り組みが各地で広がっているが、稲沢では進んでいないという。同課の担当者には「CFが、稲沢でも地域猫活動が始まるきっかけになれば」と期待した。

目標金額を上回った分は、基金に積み立てて来年度以降の助成費用に充てる。

江南市草「林本組」が市社会福祉社と。同協議会の人への車、事業や、小いる体験教室 同市古知野社センターで

貸し

江南市草「林本組」が市社会福祉社と。同協議会の人への車、事業や、小いる体験教室 同市古知野社センターで

江南市社会車いすを長谷川江南市老人福祉